Communication news
学長室の窓
福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部

Vol.35　2024年2月号【2024．2．1】

【ヨハネによる福音書 20:27】
それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」
【John 20:27】
Then He said to Thomas, ”Put your finger here; see my hands. Reach out your hand and put it into my side. Stop doubting and believe.”

春に向かって

学長　伊藤　文一

一年のなかでも2月、3月は特に早く過ぎていくような感じがします。

卒業があり、別れがあり、ちょっと寂しい時でもあります。確かに、人はこうして「出会い」と「別れ」を繰り返しながら生きていくのでしょうが、それがこの春の風と共にやってくるのですから、いつもこの時期は、そんな気持ちになります。しかし、発展というのは殻を破っていくものでしょうから、前に進むしかないのかもしれません。これまでの人生を振り返って、私が思うことを、3点お話します。

その1「考え続けること」の大切さ

毎日少しでもいいので、今の状況を冷静に見つめ、さらに工夫をして改善を加えていく習慣をつけることが大切です。人間は忘れやすい性質をもっています。結構、同じような失敗を繰り返します。「失敗を成功に変える種」を見つけて蒔かなければいけません。そして、たとえば、よい仕事をしたければ、毎日、「どうすれば、もっとよい仕事ができるか」「どうすれば、もっとよい結果がだせるか」と考え続けなければなりません。そして、行き詰まったときは、イノベーション（革新）を行い、それまでのやり方を捨て、新しいものを生み出します。さらに、また考えます。つまり、考えることを重ねていくことがとても大切なのです。商売をする場合でも、そうです。「どうすれば、もっとリピーターを呼べるか」「どうすれば、もっとお客さんに喜んでもらえるか」ということを考え続けていく中に、創意工夫が必要になってきます。このように、考え続けていくと、しだいに道が拓けてきます。「考え続ける力は、非常に大きな価値を生む」ということを覚えておいていただきたいと思います。

その2「失敗のすすめ」

この頃は、学会の中に「失敗学研究」がなされていると聞きました。しかし、多くの人たちは、できるだけ失敗をしないように心がけています。失敗をしたくないと思っている人が大勢います。確かに失敗は歓迎すべきものではありませんが、失敗した経験から学ぶことも多いのではないかというのが、私の考え方です。さらに言えば、「失敗を糧にして成功に変える力」を身に付けることが、これからは大切になってくると思っています。

「努力すれば成功する」という体験も悪くはないのですが、「努力が十分でなかったり、努力の方向が違っていたりすると失敗する」という体験も大きな教訓です。「人生の厳しい面を見た」ということがその人の深みになり、悪い過去は「人生のだし汁」あるいはコクの部分、または味わいの部分となります。ぜんざいの甘みを引き立てるためには、少し塩気があった方が良いのと同じように、苦難や艱難(かんなん)を経験することが、その人自身をいっそう輝かせるもとになるのではないでしょうか。「人格を磨くためには、失敗という道を通ることも大切だった」と、今になっては、そのように思います。

その3「自分のことばかり考えず、他の人の幸福を願うこと」

自分一人を幸せにしようとしても、なかなか幸福になれません。一方「他の人を幸福にしよう」と思っている人は幸せになれます。不思議なことに、自分のことで悩んでいる人は、幸せになれないようです。「気が付けば今日一日、自分のことなど、ほとんど考えなかった。会社のため、他の人のために一日を使った」と思えるような時間が多ければ多いほど、実はみなさんは「幸せな時間」を過ごしているのだと言えると思います。

人生は、山あり谷ありです。それを、一つ一つ乗り越えて行くとき、大切なのは友人の存在です。キリスト教も、人類愛を教えています。互いに思い合える友人を大切にして、これからの新しい自分の道を歩んでいってください。そして未来を切り開いてください。あなた方の健闘、健康、そして成功を心から祈っています。

仕事始め式

1月9日（火）に2024年度福岡女学院仕事始め式が執り行われました。新年礼拝に続き、理事長、院長、学長、校長、園長、事務局長より新年の抱負が述べられました。

交換留学生修了式＆送別会

1月24日（水）に交換留学生の修了式が行われました。3名の留学生が、1年間の留学の成果を日本語で報告しました。

修了式の後は、カフェで送別会が行われ、思い出話に花が咲いていました。本学での学びと素敵な思い出を胸に、帰国後の活躍をお祈りいたします！

地域清掃活動

1月18日（木）に新年初めての地域清掃(星のかけら拾い)を行いました。冷え込みが厳しい中、多数の教職員が集まりました。この活動は学生や教職員の交流の機会となり、繋がりもうまれています。参加ご希望の方は p_office@fukujo.ac.jp までご連絡ください。

毎月第３木曜日
7：45～8：15
(小雨延期)

デジタルワークショップ

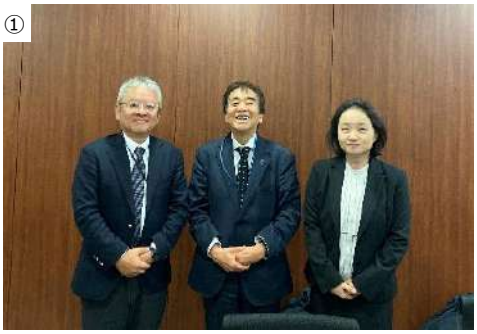
1月27日（土）に春日市との包括連携事業である「デジタルワークショップ」が開催されました。本学の学生が講師となり、春日市の小学生にレゴ®で作った車をプログラミングで動かす体験型学習を行い、子どもたちは興味深くそして夢中になって取り組んでいました。

夢語りコンテスト　小学生ミニプレゼンテーション大会

1月20日（土）に夢語りコンテスト・小学生ミニプレゼンテーション大会が開催されました。近隣小学校の代表者6名が自分の将来の志や夢についてプレゼンテーションを行いました。審査員として、福岡花ライオンズクラブの方に来校いただき、講評をいただきました。また、当日は、各小学校の校長先生、指導担当の先生、保護者も参加し、子どもたちのプレゼンテーションに熱心に耳を傾けていました。

活動報告１月【 文(ﾌﾞﾝ)ちゃんがゆく 】

①



②

③

①鹿児島商業高校 校長 堀之内 尚郎 先生、
　青木 明世 先生
②人間関係学部心理学科卒業研究合同発表会
③春日市教育長　扇 弘行 様

学長室の窓 Communication news
福岡女学院大学
福岡女学院大学短期大学部

感想・ご意見などをぜひお寄せください。
学生や教員の活躍など、記事掲載希望の方は p_office@fukujo.ac.jp にご連絡ください。
※クリックでも開きます。